

この広報紙は赤い羽根共同募金と香典返し等の寄付金で発行しています。

おおかお ふくし協たより



ふくし
広 報

No. 133
令和7年12月1日

●発行者 社会福祉法人 大川市社会福祉協議会(大川市大字上巻 405-1 ☎86-6556)



こんにちは！
こども民生委員です！ /

川口小学校6年生「こども民生委員」の取り組みで
地域の高齢者宅へ訪問し、手づくりの地域安全マップを
お渡ししました。

まちの危険個所や災害時の必需品など、
情報が盛りだくさん！

トピックス

健康福祉センター高齢者福祉事業2
親子ふれあい☆デイキャンプ報告3
子どもも大人も!わくわく道海島特集4・5

令和7年度福祉・健康のつどい
大川の未来を考えるセミナー開催について ...6
ゆうゆう会・福祉ツイート7
生活福祉資金案内・学童保育所よりお知らせ
有料広告募集8

～健康福祉センター高齢者福祉事業～



敬老のつどい(9月9日)

高齢者の健康と長寿を願い、敬老のつどいを行いました。大正琴、オカリナ、健康体操など、地域で活動されているサークルを中心にお呼びして披露いただき、最後には抽選会を行い、会場は大盛り上がり！

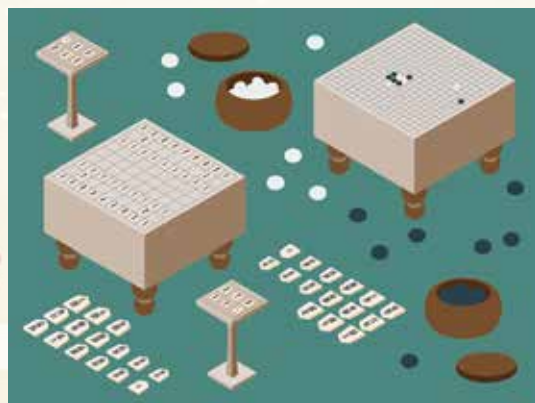
また、会場には市民の方々から募集した手芸品、川柳、絵画などを飾らせていただき、華やかな会場になりました。

今年も、たくさんの方々にご参加いただき、盛会のうちに終わることができました。



～碁打ち人募集中～

健康福祉センター 2階 和室
月～土曜日
午後1時頃～4時頃まで





第2回 親子ふれあい☆デイキャンプ」開催しました

10月5日(日)、6世帯(14名)の親子の皆さまにご参加いただき、夢たちばなビレッジ(八女市)にてデイキャンプを開催しました!

ピザ作りやバーベキュー、モルック大会などを通して、日頃仕事や家事等で子どもとの時間を確保しにくいお父さん・お母さんも子どもに寄り添いながら同じ時間を共有する、そんな貴重なひと時を過ごしていただけたようです。

ピザ作り&バーベキュー



お父さん、お母さんに教えてもらいながらピザ生地をこねたり、具材を切ったり。子どもたちの「自分でやってみる!」という声があちらこちらで聞こえていました。

自分で作ったピザは美味しさ倍増!

お腹いっぱいになった後は子ども同士で遊びを見つけ、夢中の様でした。

家族対抗モルック大会



親子で作戦を練りながら、白熱したプレイでいい汗を流しました。



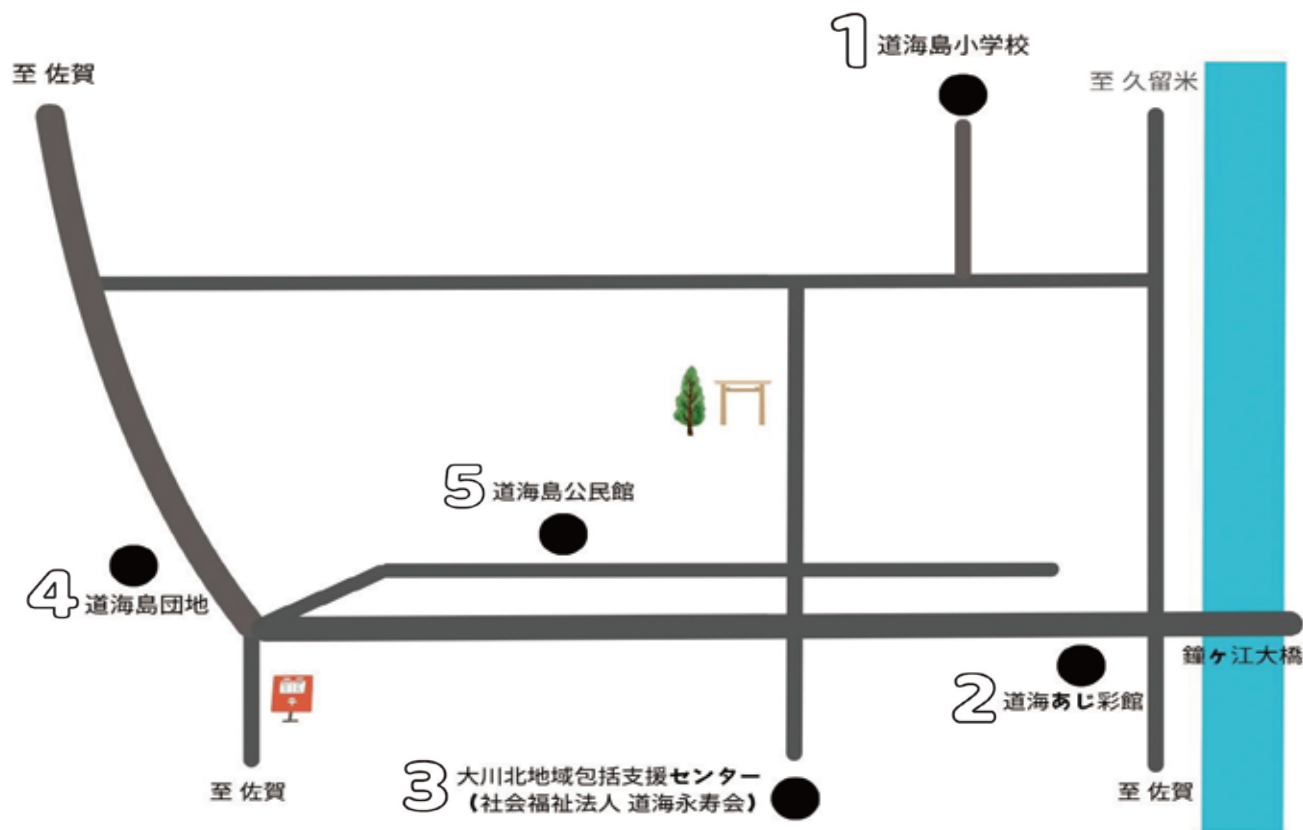
本会では、子どもの社会経験の場と子育ての悩みを共有し合える場を創出することを目的に、親子ふれあいの取り組みを行っています。

終了後のアンケートでは、様々な悩みを抱えながら一生懸命子育てしている仲間がいることを感じ明日からもまた頑張ろうという気持ちになったという声や、子どもにしてあげたいと思っていてもこのような経験をさせてあげられないのでとても良い機会だった、などの声が聞かれました。

開催案内は本会インスタでもお知らせいたしますので、興味ある方は是非フォローください。



こどもも大人も！ わくわく 道海島特集

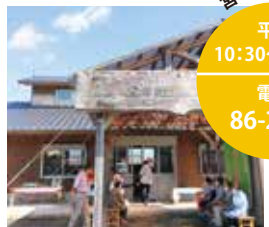


2 あじ彩館 道海店 (社会福祉法人 道海永寿会) —生活の拠り所—

買い物するところがなかった道海島に、あじ彩館が再オープンしました。

あじ彩館は、「地域に根差したお店」を目指して、障がいをもつ方々とお惣菜や弁当を作り、販売されているだけでなく、地元の生産者からの新鮮野菜などが並びます。

今後、地元のニーズに応えるべく、商品を取り揃え、ご高齢や障がいをお持ちで買い物に出られない方々へ商品の配達も行われるそうですよ。



営業時間
平日
10:30～13:30
電話
86-2025



1. 新鮮なお野菜やお弁当、お惣菜、お米などが並びます。
2. 心を込めて作られた美味しい手作りのお弁当やお惣菜です。
3. 「あら～！来たったね！」ご近所の方との何気ないおしゃべりも楽しみの一つ。

1 大川市立 道海島小学校

道海島は商店や遊び場などの資源が少ない中、地域と学校のつながりは非常に強く、地域全体で子どもたちを温かく見守り、育てている印象があります。

特に道海島小学校の生徒たちによる「道海太鼓」は先輩から引き継がれた地域の伝統です。「体育祭や卒業式をはじめ、地域のお祭りや施設などで演奏し、地域のみなさんを元気づけるとともに、人々を楽しませ、喜んでいただく事は、子どもたちの自信にもなり、心の充実感を得られる場になっていると思います。」「昨年作られた演奏時に着用する手作りの法被も地域の沢山の方々の協力を得て完成させることができました。」と先生方。

これからも地域と学校が互いに協力しあいながら、子どもたちの道海島愛と豊かな心が育まれていきます。



1.今年度、赴任された塚本正典校長。



2.昨年作られた法被。今年の6年生に引き継がれました。

5 わくわく どーかい愛ランド食堂

―食を通じて“あったらいいな”が生まれる居場所―

「道海島には、遊ぶところもお菓子を買いに行くところもない…。」子どもたちのそんな言葉から、道海島小の保護者有志が中心となり、地域食堂「わくわくどーかい愛ランド食堂」は始まりました。

誰でも参加できるこの食堂には、毎回赤ちゃんから高齢者までが集まり大賑わいです。美味しい食事はもちろん、地域の人が野菜をはじめとした食材を届けてくれたり、わたがしやかき氷大会を行ったり…。季節に応じたレクリエーションや現役の先生による夏休みの宿題指導など、さまざまなお楽しみも用意されています。

“あったらいいな”をみんなで共有して一緒に創る。食を通じて、道海島になくてはならない居場所となっています。



1. 毎回赤ちゃんから高齢者までが集います。
2. 代表の美恵子さんの唐揚げは、みんなに大人気です。
3. 季節の行事に応じたレクリエーションも！ハロウィンでは、仮装してゴミ拾いが行われました。

道海島区長 田上 卓治 さん

道海島は、市内中心部から離れており、筑後川を挟んだ地域で佐賀県(佐賀市、神崎市)に隣接しています。昔から、住民同士のまとまりが良く、助け合いながら暮らしを守ってきました。

「道海島は、他の地域に比べて道路に草が生えていないでしょう？」と田上区長。これは、地域のみなさんが熱心に除草作業をされた賜物。

道海島小学校の子どもたちによる「道海太鼓」は、地域の伝統として子どもたちに引き継がれ、祭りや施設などで演奏されています。「子どもたちが一生懸命練習し、演奏する姿は圧巻。道海島の自慢です。」とのことでした！



3 大川北地域包括支援センター

(社会福祉法人 道海永寿会)
―高齢者の最初の相談窓口―

大川北地域包括支援センターは、道海島、三又、向島、榎津、北酒見地区を担当。

最近物忘れが目立つようになってきた、体力が落ちてきた、お金の管理が難しくなってきた、など高齢者の身体のことや生活のこと、介護のことを相談できるところです。どこに相談してよいか分からない、家族や近所の人心配、などの相談も可能です。

「道海島は、あたまと体の健康教室やゆうゆう会(介護予防事業)など他地域に比べ、男性の出席率が高く意欲的。誰でも気兼ねなく 参加しやすい雰囲気があるのでは」と山田主任ケアマネジャー。「これからも健康寿命を延ばして、生き生きと暮らすことができるよう応援していきます」とのことでした！



大川北地域包括支援センター職員の皆さん
(後列左より)高井さん、江田さん、古賀さん
(前列左より)今村さん、江口さん、山田さん

ご相談はお気軽に
TEL 0944-88-1010

4 道海島団地 ちやのま

―誰も役を担わない、誰でも来てよい居場所―

免許も返納し、もしもこのまま地域のお世話役を担うことができなくなったら…。そんな声から始まったのが「ちやのま」。

食べ物や飲み物、本や脳トレなど各々がやりたいことを持ち寄り自由に過ごせる居場所です。何かを一緒にするのも、一人でぼんやり過ごすのももちろんOK。ゴミは各自で持ち帰る。汚したら自分で掃除するだけがルールです。ここでは、誰も役を担いません。

参加者の方も最初は「何も準備がない中で、どうなるかと心配だったが、フタを開けたら、それぞれが楽しく過ごしている。何より誰かがお世話をしなくてよいのが良い。」とのこと。

「よかごとできるところがいいね。手作りのお漬物やデザートを持ち寄ったりするのも楽しみ。」と皆さんにとって居心地のよい居場所になっている様子でした。



1. 参加者の皆さんでハイチーズ！
2. 思いのまま過ごすことができる居場所です。
3. 地域内の様々な専門職がたまに顔を出すので、健康のこと、介護のこと、生活のことなど気軽に相談することができます。
4. のぼり旗が開催中のしるし。



前年度よりボリュームの増した福祉・健康のつどいを開催します

令和7年度

福祉・健康のつどい

日時
12月21日(日)
10時開会

場所
大川市
文化センター

入場料無料

10時 式典
13時30分 午後の部

- ・サックス演奏
- ・お楽しみ抽選会 等

展示ホールでは、大川市老人クラブ連合会による高齢者文化展のほか、市内就労事業所や福祉団体が行うバザー、お茶席等を予定しています。
さらにはお菓子の詰め放題やチャリティーバザーも！
ぜひご来場ください。

NPO 法人「抱樸」理事長と元野宿経験者の方が参加する「生笑一座」の皆さまをお招きして、体験をもとにした講演やトークセッション等を行います

令和8年
1月17日(土)
13:00~16:30
(受付開始12:30)
ワークピア大川
大川市大字小保614番地6

つながり続ける大川の未来を考えるセミナー

ひとりじゃないと 思えるまちに

「ひとりで抱えない」「誰かがそばにいる」
まちづくりの第一歩を、あなたも一緒に考えてみませんか？

参加費
無料

※要申込・先着順

●講演
奥田 知志 氏 / 生笑一座のみなさん
(NPO法人 抱樸 理事長)

●トークセッション

定員 200 名

※12月1日(月)
10:00 申込受付開始



ゆうゆう会に高校生が参加しました

9月24～26日に、大川樟風高校の生徒3名が就労体験のために、東町・門前・郷原・道海島団地・荻島地区のゆうゆう会に参加しました。

ゆうゆう会で参加者の方と交流を図り、レクリエーションを一緒に行い楽しい時間を過ごしました。

参加者の方々も若い方と交流でき、さらに元気をいただきました。



福祉ツイート

～ただ、誰かと一緒にいるということ～

先日、ある地域の居場所にお邪魔したときの出来事。その居場所では、地域の皆さんが各々自身のやりたいことをして過ごされています。トランプをする人、おしゃべりをする人、黙々と折り紙をする人、脳トレをする人……様々なことを実施しておられます。

そこで感じたのは、皆さんとても楽しそう。誰一人「やらされている」「無理やり連れて来られている」方はいらっしゃらないということです。やりたいからやる、楽しいからやる活動は、誰も「やらされて」いません。

持続可能な活動の共通点の一つは自主性・主体性であると感じます。

20名程の方が参加されており、4～5名程で各々が楽しまれている中、お一人だけぼつんと座って雑誌を読まれていた方を見つけ、お話を伺いました。「皆さんトランプや花札などをして楽しまれています、〇〇さんも入られませんか？」私は、お一人で寂しそうだと感じ、良かれとの思いでその方をみんなの輪に入れようとしていました。

しかし、その方はこう言われました。「私は、みんなで体操とか、トランプとかはせんでよか。ただ、みんなが居るこの空間におるだけでよか。何もせんでよか。」この言葉を聞いたとき、誰かと一緒に「何か」をすることも大事ですが、ただ誰かと「一緒にいる」ことで満たされることもあるのだと感じました。

同時に、いわゆる支援者目線で、その方の声を聞かず、良かれとの思いでみんなの輪に入れようとするような、ある種のパターナリズム(※1)に陥らないように改めて注意したいと感じた出来事でもありました。

幸せの定義は人それぞれだと思います。誰かと一緒に何かをすることが幸せだと感じる方もいらっしゃる一方で、ただ誰かと一緒にいるということ、それ自体が落ち着くと感じる方もいらっしゃる。やはり一人ひとりのニーズに基づいた対応が大切だと感じる今日この頃です。

(ペンネームY)

(※1)パターナリズム(父権主義):ある人の利益になるとして、本人の意思を問わずに介入・干渉・支援すること。

教育支援資金貸付のご案内

教育支援資金は他の教育費支援制度が利用できない、またはそれだけでは学費が不足するなどの理由でお困りの低所得世帯を応援する制度(無利子)です。

検討されている世帯は学費納期前にお早めにご相談ください(原則未払いの費用が対象となります)。

・就学支度費

高校、専門学校、短大、大学に入学するために必要な入学金、制服・教材購入のための費用

・教育支援費

高校、専門学校、短大、大学で就学するために必要な授業料等の費用

※就学する本人が借受人、世帯の生計中心者が連帯借受人となります。卒業後に返済が始まります。

※他制度を利用できる場合はそちらが優先となります。



学童保育所よりお知らせ

11月に来年度の入所申請の受付を行いました。審査後の結果については1月下旬～2月上旬頃にお知らせいたしますのでお待ちください。

12月の利用料引落日は12月25日(木)です。例月と異なりますのでお間違えのないようお願いいたします。

クリスマスやお正月など子ども達にとって楽しい行事の多い時期です。感染症が流行する季節でもありますので、体調管理に気をつけて過ごしたいと思います。

★年末年始のお休み

12月28日(日)～1月4日(日)

年内は12月27日(土)まで、1月5日(月)8時から開所となります。

各学童保育所につながらない時や入所・退所に関する事、お困りのことについては、こちらへご連絡ください。

☆学童保育所事務局連絡先:080-5408-6093



有 料



社会福祉法人

大川市社会福祉協議会

サイズ・料金

1口 (縦13cm × 横約8.5cm)

30,850 円

1回の掲載につき最大2口までお申込み可能です。

広告募集

社協だよりに広告を載せませんか？

おおかわ社協だよりは、年3回発行(8月、12月、3月)、市内約13,400部を全世帯へ配布しております。

企業、団体、イベントの広報やサークル活動の会員募集など費用を抑え、大きなPRに加え、地域福祉への協力を兼ねた広告枠をぜひご活用ください。

ご掲載につきましては、まずはお気軽にお問合せください。

お問い合わせ・お申し込み

☎ 0944-86-6556

✉ fukushi@okawa-syakyoku.or.jp